

<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">(1) 時代の変化に対応した新たな取組について</div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">[条例施行 10 年が経過し、顕在化した課題等に対する市の取組内容に対する評価]</p>	
SDGs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGs 等、市のブランディングについては、様々な既存のツールを活用し、連携して実施していくことが必要</li> <li>・ SDGs は、具体的な話とセットで行わないと一般市民には伝わらない</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;"><b>【見直しの方向性（案）】</b></p> <p>◎ 「 . . . . . 」</p>
魅力発信・都市ブランド向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北九州市は、対外的に上手く地域の魅力を伝えるのが苦手</li> <li>・ 他都市と比較しても、いろいろと熱心に情報発信を行っている</li> <li>・ ヴァーチャルユーチューバーの活用は情報発信において有効である</li> <li>・ 北九州市出身の声優やキャラデザイナーなどに協力してもらえるとよい</li> <li>・ 都市のブランディングで、様々なことを一生懸命されているが、バランスが悪い</li> <li>・ 全体的なブランディングとしてもう一工夫が必要</li> <li>・ 都市ランキング 1 位、といった広報も、データに基づいて周知しないと説得力がない</li> <li>・ 北九州市にはどんな魅力があり、どう情報発信していくかについて、改めて検討が必要</li> <li>・ 市民が誇りを持てると共に、市外の方が北九州市のいいところを知れるような、両方を同時に満たすようなブランディングを行う必要がある</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;"><b>【見直しの方向性（案）】</b></p> <p>◎ 「地域の魅力を効果的に伝える戦略的広報の推進」</p> <p>◎ 「都市ブランド確立に向けた取組の強化」</p>
<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">(2) 情報共有・市民参画</div>	
広報事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市政だよりは重要なツールであり、IT化が進んでも、ぜひ続けてほしい</li> <li>・ ホームページは重要だが、北九州市を知らない、知ろうと思わない人達も知るきっかけとなるような活用の仕方を SNS などで上げていくべきでは</li> <li>・ LINE 等 SNS は地域における世代間のコミュニケーションツールとして有効である</li> <li>・ SNS や PR 動画など様々な取組を行っているが、課題は若い世代にどう伝えていくか</li> <li>・ 情報化が進み、刻々と変化する状況にどう対応していくか</li> <li>・ 市は様々な情報発信ツールを活用して広報に取り組んでいるが、ツールの特徴を活かした広報のやり方が必要</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;"><b>【見直しの方向性（案）】</b></p> <p>◎ 「情報化・IT化等、時代の変化に対応した情報発信方法の実現」</p> <p>◎ 「各種情報発信ツールの特徴を活かした訴求力のある広報」</p>

<p><b>広聴事業</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参画に関心がない人が増えてきている一方で、地元への愛着は大変強い</li> <li>・市政への関心は10・20代が低いのは仕方ないが、30代もかなり関心が低い</li> <li>・情報共有においてSNSが主流となっていく中で、AIチャットボット等を活用していくべき</li> </ul> <p><b>【見直しの方向性（案）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎「若い世代の市民参画推進」</li> <li>◎「情報共有手段としてのAI技術の活用」</li> </ul>
<p><b>(3) コミュニティ</b></p>	
<p><b>多文化共生</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民自治を確立していく中での外国人の位置づけ、役割をしっかりと検討すべき</li> <li>・外国人住民に対して、日本（北九州市）の生活ルール等をしっかりと伝えるべき</li> <li>・外国人住民に生活ルール等を伝えることについて、自治会の役割は重要</li> <li>・ルールを伝える際には、文化や慣習の違う外国人住民がきちんと理解できるように配慮すべき</li> <li>・外国人住民が、上手く地域コミュニティに関わっていけるような取組が必要。</li> </ul> <p><b>【見直しの方向性（案）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎「外国人住民への生活ルール等、情報発信の強化」</li> <li>◎「地域コミュニティへの外国人住民参画促進」</li> </ul>
<p><b>地域 コミュニティ NPO</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の担い手づくりが課題である</li> <li>・自治会の今後を考える上で、リーダーの資質は重要</li> <li>・自治会の役員になりたくない人が急激に増えてきている</li> <li>・町内会長が様々な役割を担わされ、大変忙しい状況である</li> <li>・防災への対応を通じて、自治会や地域に関わる意識が高まった</li> <li>・自治会をはじめとする地域の組織が複雑で分かりづらい</li> <li>・社会状況の変化にあわせ、自治会も変革していくべき</li> <li>・自治会加入率促進には、それぞれの状況（入会しない理由が「入会の仕方がわからない」「活動の内容がわからない」等）に合わせた勧誘を行うことが有効</li> <li>・自治会に入るメリットを示すことができるとよい</li> <li>・住民基本台帳上の市民だけでなく、広く本市に関わりのある方々も巻き込んでいかないと、様々な問題に対応できない</li> <li>・条例の中に「協働」の概念は含まれている</li> <li>・NPOの高齢化が進み、新しい人材が出てきていないのではないか</li> </ul> <p><b>【見直しの方向性（案）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎「まちづくりを担う人材の育成」</li> <li>◎「地域コミュニティにおける防災対策の推進」</li> <li>◎「社会情勢の変化にあわせたまちづくり団体等の見直し促進」</li> <li>◎「今後10年先を見据えた、地域と連携したコミュニティ活性化に向けた取組の強化」</li> </ul>